B2(728×515)
MAG-717A

MAG-717A　2-990633.②.ⓜ

TOSTEM トステム株式会社

アルミと樹脂の複合サッシ シンフォニー 段窓無目　組立て説明書

■組み立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注 意…取扱いを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

⚠注　意

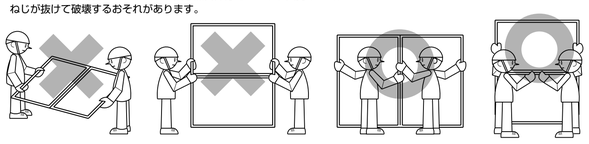
●下記項目は、漏水の原因になるおそれがありますのでご注意ください。
・指定個所には必ずシーリング材（別途）を充てんしてください。
・段窓無目に張り付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
・段窓で上段にＦＩＸ窓を使用する場合は、いったん下枠補強ブラケットを取り外し、下枠補強ブラケット取付けねじのみ再度取り付けて、ねじ頭にコーキングしてください。
・ねじは2.5±0.5N･m（25±5kgf･cm）のトルクで止めた後、ゆるみ･がたつきのないことを確認してください。

■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。
●枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま段窓無目部分をしっかり支持してください。
●段窓後の取付けは、「段窓無目取付け説明書」を参照してください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず施工される方へお渡しください。
●段窓無目は、装飾窓用（テラスドア含む）と引違い窓用（テラス含む）とで形状が異なりますのでご確認ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

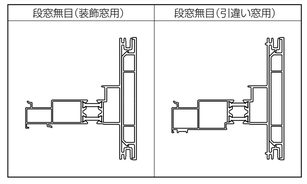
■組立て後の取扱いとお願い

●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。
また、移動する場合は、立てたまま段窓無目部分をしっかり支持してください。
ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



■段窓無目の種類

段窓無目（装飾窓用）	段窓無目（引違い窓用）



■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。
間違いのないよう使用してください。

㋑	単体サッシ本体に同梱 ㋺	㋩
M4×10皿小ねじ	φ4×20ナベタッピンねじ	φ4×10バインドテクスねじ

■組立て順序

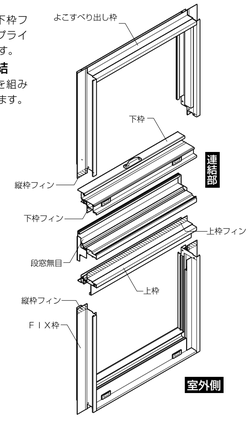
1縦枠・上下枠フィンのカット

●連結部の縦枠・上下枠フィン（▨部）をプライヤー等で折り取ります。

2段窓無目との連結

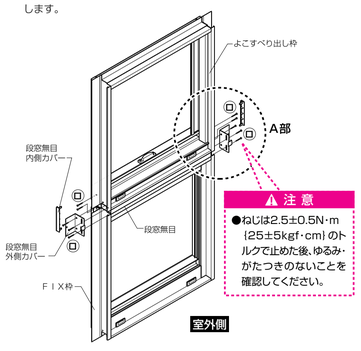
●上下枠と段窓無目を組み合わせ、ねじ止めします。

【組立て例:よこすべり出し窓+FIX窓】



3枠の組立て・シーリング

①上下の窓枠を段窓無目と一体に組み立て、段窓無目外側カバーをねじ止めします。
②段窓無目内側カバーをはめ込みます。



⚠注　意

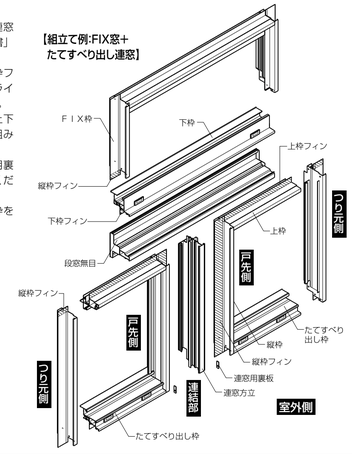
●ねじは2.5±0.5N･m（25±5kgf･cm）のトルクで止めた後、ゆるみ･がたつきのないことを確認してください。

■連段窓の場合の組立て順序

1連結前の準備

※連窓部の詳細は、「連窓方立180°組立て説明書」を参照してください。
①連結部の縦枠・上下枠フィ▨部）をプライヤー等で折り取ります。
②たてすべり出し窓の上下枠と、戸先側縦枠を組み立てます。
※組立ての際は、連窓用裏板を必ず取り付けてください。
③ＦＩＸ窓の上枠と縦枠を組み立てます。

【組立て例:FIX窓+たてすべり出し連窓】



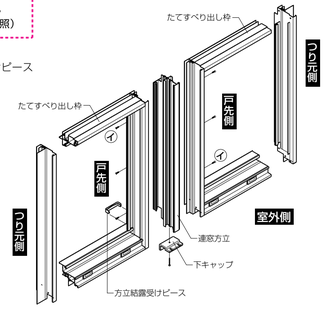
2連窓部の組立て

①「連窓方立180°組立て説明書」に従って、連窓方立と左右の枠を連結します。
②連窓方立下端に、下キャップを取り付けます。
※この場合、上キャップは使用しません。

⚠注 意

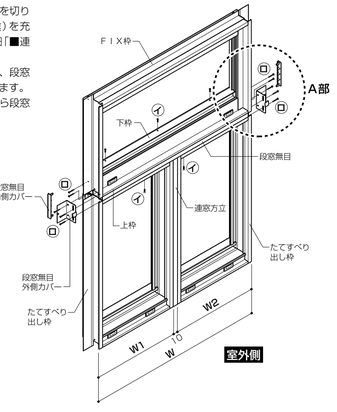
●下キャップ取付け後、周囲にシーリング材（別途）を充てんしてください。
（「連窓方立180°組立て説明書参照）

③つり元側縦枠を取り付けます。
④連窓方立下端に、方立結露受けピースを取り付けます。



3段窓部の組立て

①段窓無目の連窓方立接触部を切り欠き、シーリング材（別途）を充てんします。（組立て詳細「■連段窓の場合」参照）
②たてすべり出し窓の上枠に、段窓無目を室外側から差し込みます。
③ＦＩＸ窓の下枠を室外側から段窓無目に差し込みます。
④段窓無目を上下枠のねじ穴から固定します。
⑤ＦＩＸ枠（上枠・縦枠）とたてすべり出し枠を段窓無目外側カバーで固定します。
⑥段窓無目内側カバーをはめ込みます。

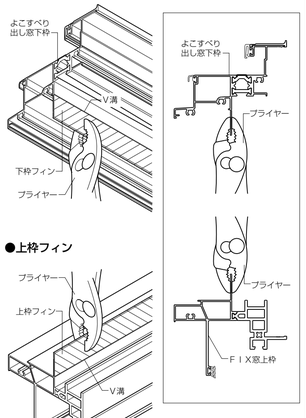


■組立て詳細

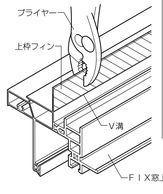
1縦枠・上下枠フィンのカット

①連結部の縦枠・上下枠フィンのＶ溝にカッターで1～2回スジをつけます。
②プライヤーで、▨部を折り曲げながら取り除きます。

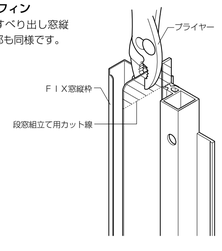
●下枠フィン



●上枠フィン



●縦枠フィン
※よこすべり出し窓縦枠下部も同様です。

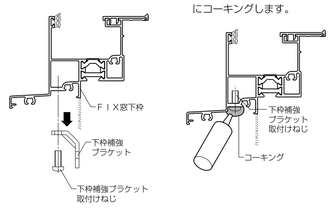


2段窓無目との連結

⚠注 意

●段窓で上段にFIX窓を使用する場合は、下記に従ってください。

①下枠補強ブラケットを取り外します。
②下枠補強ブラケット取付けねじのみ再度取り付けてねじ頭にコーキングします。



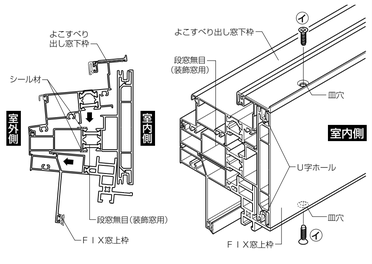
※W1871未満の場合は、下枠補強ブラケットの取付けはありません。

段窓無目（装飾窓用）の場合

①段窓無目（装飾窓用）と上下枠を一体に組み合わせ、端部を面一に合わせます。
②上下枠の皿穴と段窓無目（装飾窓用）のU字ホールを合わせ、ねじ止めします。

⚠注 意

●漏水のおそれがありますので、段窓無目（装飾窓用）に張り付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。

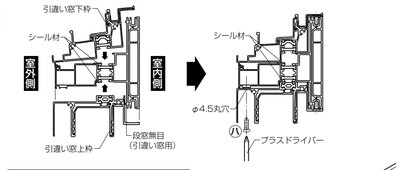


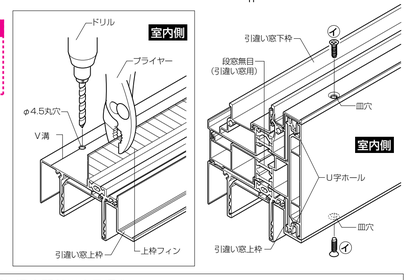
段窓無目（引違い窓用）の場合

①引違い窓上枠（室外側）のＶ溝に、ドリル等でφ4.5の丸穴をあけます。
※ピッチは上枠アングル部取付け穴（皿小ねじ）と同じです。
②段窓無目（引違い窓用）と上下枠を一体に組み合わせ、端部を面一に合わせます。
③上下枠の皿穴と段窓無目（引違い窓用）のU字ホールを合わせ、ねじ止めします。
④①であけた丸穴からねじ止めします。

⚠注 意

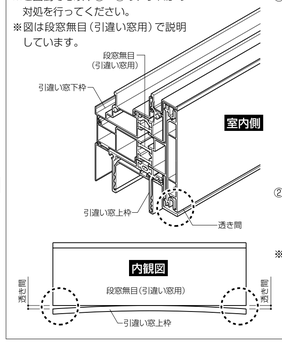
●漏水のおそれがありますので、段窓無目（引違い窓用）に張り付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。



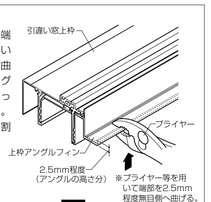


■段窓無目と上枠（室内側）の間に透き間が出きる場合

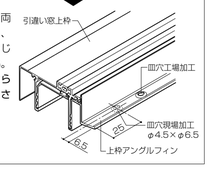
※ご面倒でも以下①・②のいずれかの対処を行ってください。
※図は段窓無目（引違い窓用）で説明しています。



①上枠のアングルフィン端部をプライヤー等を用いて無目側へ2.5mm程度曲げてください。（アングル部は樹脂のため、ゆっくりと曲げてください。急激に行うと、キズ・割れ等が発生します。）



②上枠のアングルフィン両端部に皿穴加工を施し、無目組立て時の皿小ねじを用いて止めてください。
※ねじ頭がサッシ表面から出ないようにしてください。



3枠の組立て・シーリング

①上下の窓枠をそれぞれ組み立て、段窓無目と組み合わせます。
②段窓無目と縦枠の継ぎ目（　部）にシーリング材（別途）を充てんします。
③段窓無目外側カバーを取り付け、指定の位置（　部）にシーリング材（別途）を充てんします。

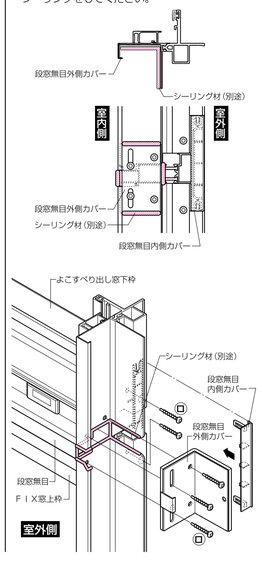
⚠注 意

●漏水防止のため、指定個所には必ずシーリング材（別途）を充てんしてください。

④段窓無目内側カバーをはめ込みます。

■A部詳細図

※図は段窓無目（装飾窓用）で説明していますが、段窓無目（引違い窓用）も同じ要領で組立て・シーリングをしてください。



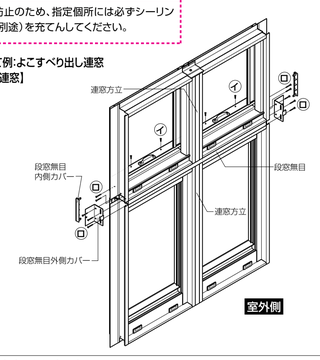
■連段窓の場合

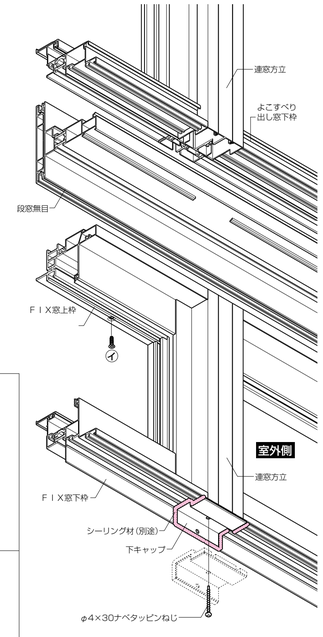
●段窓無目の連窓方立接触部（　部）を切り欠き、シーリング材（別途）を充てんします。

⚠注 意

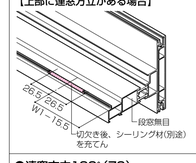
●漏水防止のため、指定個所には必ずシーリング材（別途）を充てんしてください。

【組立て例:よこすべり出し連窓+FIX連窓】

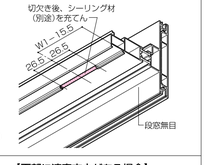




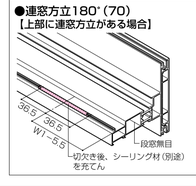
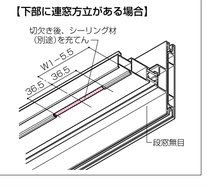
●連窓方立180°（50）
【上部に連窓方立がある場合】



【下部に連窓方立がある場合】



●連窓方立180°（70）
【上部に連窓方立がある場合】



【下部に連窓方立がある場合】